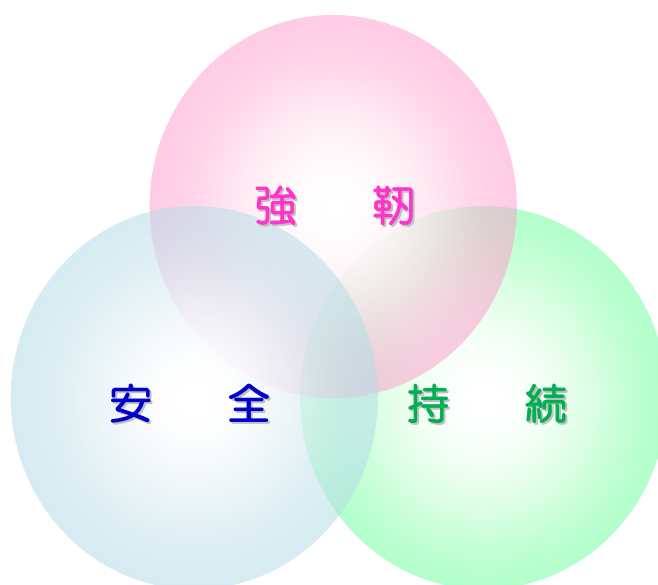


新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～

前期実施計画（平成29年度）の取り組み状況

概要版



平成 30 年 9 月

新潟市水道局

目 次

趣旨，事業評価概要・・・P2

事業・取り組み担当課1次評価結果一覧・・・P3

1次評価結果概要・・・P4～P5

事業・取り組みの実施状況・・・P6～P9

2次評価結果概要・・・P10

経営審議会評価及び意見等・・・P11～P14

重点目標の推移・・・P15～17



平成29年度の評価結果，
取組み状況を報告します。

水太郎

趣旨

本市では、平成27年3月に将来にわたって「すべてのお客さまに信頼される水道」を基本理念とした、「新・新潟市水道事業中長期経営計画～新・マスタープラン～」(平成27年度～平成36年度)を策定し、事業を推進しています。また、目指す方向性実現のため、具体的な事業・取り組みと、財政計画などを定めた「新・マスタープラン実施計画」(計画期間：前期3年、中期3年、後期4年)を策定し、毎年度行う事業評価の結果を踏まえ、今後の事業に活用していくこととしています。

事業評価の概要

「新・マスタープラン前期実施計画」は、3つの方向性「安全」「強靱」「持続」を実現するために、8つの施策を設け、31の「事業取り組み」を行っています。評価については、1次評価は所管課で「事業取り組み」ごとに、効率性、有効性の評価をし、2次評価は外部機関の水道事業経営審議会で次年度以降の方向性を評価します。

1次評価

効率性総合評価

効率性 A	・・・ 非常に高い
効率性 B	・・・ 高い
効率性 C	・・・ 普通
効率性 D	・・・ 低い
効率性 E	・・・ 非常に低い

有効性総合評価

有効性 A	・・・ 非常に高い
有効性 B	・・・ 高い
有効性 C	・・・ 普通
有効性 D	・・・ 低い
有効性 E	・・・ 非常に低い

2次評価

方向性総合評価

拡充	・・・ 今まで以上に力を入れて事業に取り組むことが適当
維持	・・・ 今までどおり事業に取り組むことが適当
終了(完了)	・・・ 事業・取り組みは終了した
改善・見直し	・・・ 事業内容の改善や見直しを検討し取り組むことが適当
縮小	・・・ 事業の取り組み規模を縮小することが適当

事業・取り組み担当課・1次評価結果一覧

方向性	施策	事業・取り組み	担当課	効率性	有効性	
安全でおいしい水道水の供給 《安全》	Ⅰ 水質管理の充実・強化	Ⅰ-1 水源水質の監視	水質管理課	C	C	
		Ⅰ-2 水安全計画の充実・適切な運用	水質管理課	C	C	
		Ⅰ-3 水質管理体制の強化	水質管理課	B	C	
		Ⅰ-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	水質管理課 (浄水課)	B	C	
		Ⅰ-5 分かりやすい水質情報の提供	水質管理課	B	B	
	Ⅱ 給水装置における 水質保持	Ⅱ-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	管路課	B	B	
		Ⅱ-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	管路課	C	B	
		Ⅱ-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	管路課	B	C	
強靱な施設・体制による給水確保 《強靱》	Ⅲ 水道施設の計画的更新	Ⅲ-1 浄配水施設の計画的更新	計画整備課	C	C	
		Ⅲ-2 管路施設の計画的更新	計画整備課	D	D	
		Ⅲ-3 鉛給水管の計画的更新	管路課	C	C	
	Ⅳ 災害対策・体制の強化	Ⅳ-1 浄配水施設の計画的耐震化	計画整備課	C	D	
		Ⅳ-2 管路施設の計画的耐震化	計画整備課	D	C	
		Ⅳ-3 重要施設向け配水管の耐震化	計画整備課	C	B	
		Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進	管路課	C	C	
		Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	管路課	B	B	
		Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化	経営管理課	B	C	
	環境の変化に柔軟に対応した 健全な事業運営の持続 《持続》	Ⅴ 経営基盤の強化	Ⅴ-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	計画整備課	C	C
			Ⅴ-2 定員・給与の適正化	総務課	C	B
Ⅴ-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施			営業課	C	C	
Ⅴ-4 遊休資産の有効活用			経営管理課	C	C	
Ⅴ-5 時代に即した料金制度等の検討・実施			経営管理課	C	C	
Ⅴ-6 水道事業経営審議会の効果的運用			経営管理課	C	C	
Ⅵ 積極的な情報提供と お客さまニーズの把握		Ⅵ-1 戦略的な広報の実施	総務課	C	C	
		Ⅵ-2 お客さまの意見・要望の把握	総務課	B	C	
		Ⅵ-3 分かりやすい経営情報の開示	経営管理課	C	C	
		Ⅵ-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	経営管理課	C	C	
Ⅶ 技術・知識を有する 人材の確保と育成		Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化	総務課	B	B	
		Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	総務課	C	A	
Ⅷ 環境に配慮した事業運営		Ⅷ-1 建設副産物の再利用促進	技術管理室	B	C	
		Ⅷ-2 水道局環境計画の策定と推進	経営管理課	C	C	

1次評価結果の概要

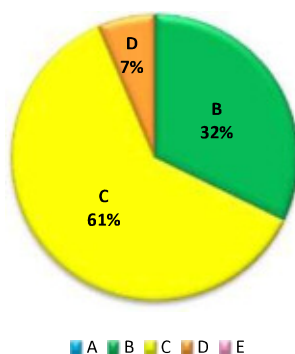
1. 1次評価結果の集計

(1) 効率性評価

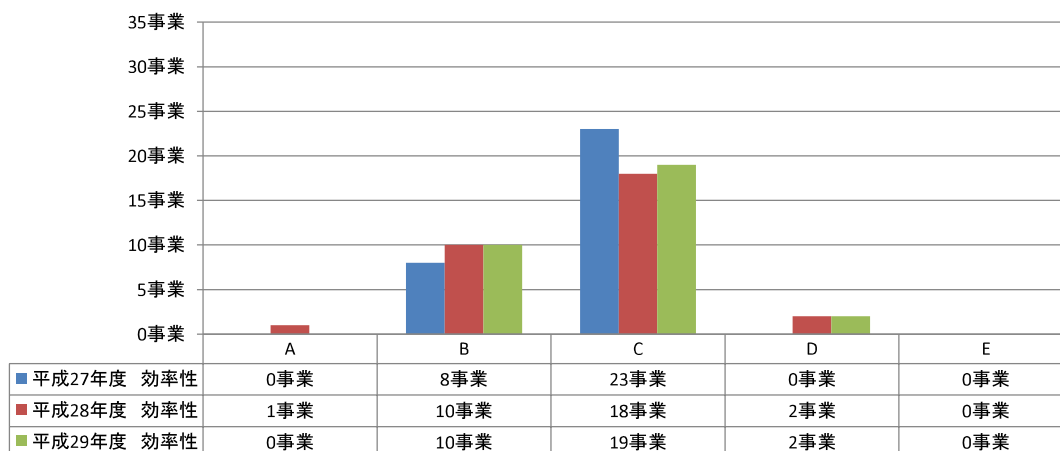
評価値	事業数	備考
A	0事業	
B	10事業	I-3水質管理体制の強化 I-4新潟市独自の管理目標による水質管理 I-5分かりやすい水質情報の提供 II-1学校施設の水飲み水栓の直結給水課 他6事業
C	19事業	
D	2事業	III-2管路施設の計画的更新 IV-2管路施設の計画的耐震化
E	0事業	
計	31事業	

効率性評価は、当該事業・取組みが、コストに見合った結果が出ているか、実施手段が効率的であったか評価するものです。評価全体では、評価点7～8点の「B高い」評価事業は10事業、32%、評価点5～6点の「C普通」評価事業は19事業、61%、3～4点の「D低い」評価事業は2事業、7%でした。外的要因などによる「D低い」評価があるものの、31事業中29事業、93%の事業が効率性の目標を達成しました。

効率性評価結果割合
(評価対象31)



効率性評価結果の経年変化

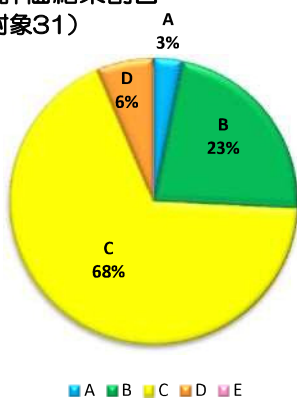


(2)有効性評価

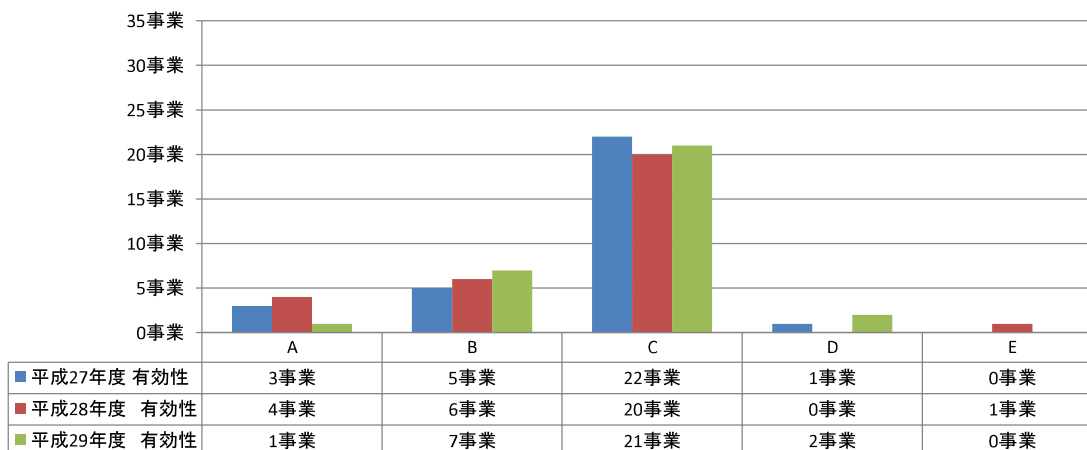
評価値	事業数	備考
A	1事業	VII-2諸外国との水道技術研究交流
B	7事業	
C	21事業	
D	2事業	III-2管路施設の計画的更新 IV-1浄配水施設の計画的耐震化
E	0事業	
計	31事業	

有効性評価は、重点目標等を達成するために有効であったか、期待する結果・効果（成果）は得られたか評価するものです。有効性総合評価の結果は、評価9～10点の「A非常に高い」評価事業は1事業、3%、7～8点の「B高い」評価事業は7事業を合わせると8事業、26%でした。5～6点の「C普通」評価事業は21事業、68%、3～4点の「D低い」評価事業は2事業、6%でした。31事業中29事業、94%の事業が有効性の目標を達成しました。

有効性評価結果割合
(評価対象31)



有効性評価結果の経年変化



事業・取り組みの実施状況

安全でおいしい水道水の供給

すべてのお客さまに、いつでもどこでも、安全でおいしい水道水を供給する水道を目指します。

施策Ⅰ 水質管理の充実・強化

主な取り組み

- I-1 水源水質の監視
 - ・水源の監視及び調査の実施
- I-2 水安全計画の充実・適切な運用
 - ・水安全計画の評価・見直しの実施
- I-3 水質管理体制の強化
 - ・水道GLPの維持・更新
 - ・人材育成及び技術継承

- I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理
 - ・独自管理目標値による水質管理
- I-5 分かりやすい水質情報の提供
 - ・啓発活動の継続
 - ・分かりやすい情報提供

I-1 水源水質の監視	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
河川水質事故による水道水の影響		0%	0%
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
水道原水の水質調査		2回/6回	2回/6回
浄水施設での対応が困難な物質の監視		4回/12回	4回/12回

I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
農薬濃度管理目標達成率		100%	100%
総トリハロメタン濃度管理目標達成率		100%	100%
残留塩素管理目標達成率		91%	92%
臭気強度管理目標達成率		100%	100%

I-2 水安全計画の充実・適切な運用	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
浄水場「水安全計画」の評価実施率		100%	100%

I-5 分かりやすい水質情報の提供	評価結果	効率性 B	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
さわやかトーク宅配便等年間実施数		12回/32回	12回/44回

I-3 水質管理体制の強化	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
検査機器の保守点検実施率		100%	100%
教育訓練実施率		100%	100%
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
水質検査の公表回数		12回/36回	12回/36回



施策Ⅱ 給水装置における水質保持

主な取り組み

- II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化
 - ・教育委員会との協議
- II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施
 - ・貯水槽清掃強化月間の設定のための協議
 - ・民間清掃会社との協力体制構築に向けた関係機関との協議
 - ・貯水槽施設衛生管理指導業務の委託

- II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上
 - ・受講未連絡の業者に対し講習会参加を要請
 - ・適切な施工確保のため、講習内容を見直し実施
 - ・指定給水装置工事事業者の表彰実施
 - ・寒波の際の応急復旧支援に対し、特別表彰を実施

II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	評価結果	効率性 B	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
学校施設の水飲み水栓の直結給水化率		65.0%/65.0%	65.7%/65.7%

II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
給水装置に係る事故件数		0件	0件
指定給水装置工事事業者講習会参加率		78.0%	73.1%
優良指定給水装置工事事業者の表彰実施		実施	実施

II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	評価結果	効率性 C	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
貯水槽清掃実施率（簡易専用水道）		93.1%	97.4%
貯水槽清掃実施率（小規模貯水槽水道）		65.8%	71.7%
貯水槽清掃実施率（全体清掃率）		76.8%	82.3%

※「指定給水装置工事事業者講習会参加率」は寒波により急遽講習会が中止となったため、新潟会場分は受講申込数にて算定。

強靱な施設・体制による給水の確保

自然災害等による被災を最小限にとどめ、断水等が発生した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道を目指します。

施策Ⅲ 水道施設の計画的更新

主な取組み

- Ⅲ-1 浄配水施設の計画的更新
 - ・阿賀野川浄水場整備事業
ポンプ場築造工事の実施（平成29年度完了）
電気設備更新工事の実施（平成31年度完了予定）
自家発電設備更新工事の実施（平成30年度完了予定）
監視制御設備更新工事の実施（平成31年度完了予定）
ポンプ設備更新工事の実施（平成30年度完了予定）
粉末活性炭注入設備更新工事の実施（平成30年度完了予定）
 - ・配水場整備事業
内野配水ポンプ電気設備更新工事の実施（平成29年度完了）
竹尾配水ポンプ電気設備更新工事の実施（平成30年度完了予定）
南浜電気設備更新工事の実施（平成32年度完了予定）
 - ・経年劣化した設備の個別整備
- Ⅲ-2 管路施設の計画的更新
 - ・基幹管路更新
 - ・配水支管更新
- Ⅲ-3 鉛給水管の計画的更新
 - ・小口径老朽管更新（ガス工事競合）
 - ・小口径老朽管更新（局単独工事）
 - ・他工事に関連する鉛給水管更新（下水道工事等）
 - ・連合鉛給水管更新
 - ・鉛給水管更新（戸別）

Ⅲ-1 浄配水施設の計画的更新	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
阿賀野川浄水場整備事業		実施	実施
配水場整備事業		実施	実施

Ⅲ-2 管路施設の計画的更新	評価結果	効率性 D	有効性 D
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
基幹管路更新延長 ※評価指標の延長は発注延長（計画値）を使用		5,200m / 15,000m	2,840m / 11,900m
配水支管更新延長 ※評価指標の延長は発注延長（計画値）を使用		26,500m / 75,700m	14,079m / 49,062m

Ⅲ-3 鉛給水管の計画的更新	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
鉛給水管率		5.2%/5.2%	5.9%/5.9%



施策Ⅳ 災害対策・体制の強化

主な取組み

- Ⅳ-1 浄配水施設の計画的耐震化
 - ・耐震補強実施【土木構造物】
阿賀野川浄水場構内水管の耐震化および配水池耐震補強の実施（平成31年度完了予定）
阿賀野川沈砂池耐震補強の実施（平成29年度完了予定）
青山向け導水管サージタンク転倒対策完了
 - ・基幹管路更新事業・配水支管更新事業に併せ管路施設の耐震化を実施
- Ⅳ-2 管路施設の計画的耐震化
 - ・重要施設向け配水管の耐震化
（計画に基づき重要施設向け配水管の耐震化を実施
（行政機関：0施設 医療機関4施設）
- Ⅳ-3 重要施設向け配水管の耐震化
 - ・計画に基づき重要施設向け配水管の耐震化を実施
（行政機関：0施設 医療機関4施設）
- Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進
 - ・基幹管路整備に併せた小ブロックの構築（小ブロック構築数0ブロック）
- Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備
 - ・巻浄水場系～戸頭浄水場系連絡管整備
- Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化
 - ・各種災害マニュアル類の見直し
 - ・巻浄水場の応急給水設備は隣接する既存設備の活用で整備済
 - ・災害時の協力体制および連携体制の拡充
他団体との災害時応援協定の締結（民間団体等3件）
応急給水訓練実施（南区1箇所、東区1箇所）

Ⅳ-1 浄配水施設の計画的耐震化	評価結果	効率性 C	有効性 D
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
【建築物】（完了数/全計画数）		2/2 / 2/2	0/2 / 0/2
【土木構造物】（完了数/全計画数）		3/13 / 3施設	3/13 / 3施設

Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
小ブロック構築率		93.3%/93.3%	81.5%/81.5%

Ⅳ-2 管路施設の計画的耐震化	評価結果	効率性 D	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
管路耐震適合率 ※算出の基となる延長は発注延長（計画値）を使用		68.5%	68.1%（見込み）
基幹管路耐震適合率 ※算出の基となる延長は発注延長（計画値）を使用		62.1%	62.4%（見込み）
		62.1%	62.4%（見込み）

Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	評価結果	効率性 B	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
相互連絡管整備延長		1,040m/2,600m	1,068.7m/2,673.5m

Ⅳ-3 重要施設向け配水管の耐震化	評価結果	効率性 C	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
重要施設向け配水管の耐震化 ※評価指標の進捗は、工事の発注により行う		4施設 / 9施設	4施設（見込み） / 10施設（見込み）

Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
各種マニュアルの作成・見直し		実施	実施
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
給水車用常設注水設備の整備		—	—
住民用応急給水設備の整備		1箇所（巻） / 3箇所	1箇所（巻） / 3箇所

環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道を目指します。

施策V 経営基盤の強化

主な取組み

- V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理
- ・中長期的な更新需要の見直し
 - ・施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備
- V-2 定員・給与の適正化
- ・定員の適正化・業務の見直しや民間委託などにより、適正な人員を削減
 - ・給与の適正化・給料表の改定を始め、給与全般について市長部局に準じた見直しを適宜実施
- V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施
- ・委託契約業者へ業務委託を実施

- V-4 遊休資産の有効活用
- ・施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究の実施
- V-5 時代に即した料金制度の検討・実施
- ・料金体系の調査研究、料金制度等の現状と課題の整理
- V-6 水道事業経営審議会の効果的運用
- ・水道事業経営審議会開催（3回/年）
 - ・新・マスタープランの事務事業に対する2次評価の実施



V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
中長期的な更新需要の見直し		実施	実施
施設情報の電子化・施設修繕履歴の整備		-	-

V-4 遊休資産の有効活用	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標/目標累計	実績/実績累計
有効活用の実施・協議・調整等累計施設数		1施設 / 5施設以上	3施設 / 3施設

V-2 定員・給与の適正化	評価結果	効率性 C	有効性 B
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
職員数（年度末職員数≦職員定数）		330人以下	318人

V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーション（調査研究）		実施	実施

V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
水道料金等収納業務委託の実施		実施	実施

V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
新・マスタープラン事業実施状況に対する意見・提言の聴取と反映		実施	実施

施策VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握

主な取組み

- VI-1 戦略的な広報の実施
- ・独自イベント・・・施設見学など
 - ・お客さまに直接働きかける広報・・・災害パネル展示、出前講座など
 - ・デジタルメディアを活用する広報・・・ホームページなど
 - ・紙媒体による広報・・・広報紙、検針票裏面など
 - ・漫画を活用する広報・・・小学生向けパンフレット、工事看板など
 - ・広報紙（水先案内）の有料広告掲載による、水道料金以外の収入確保
- VI-2 お客さまの意見・要望の把握
- ・公募による23名の水道モニターで研修会や施設見学など4回開催

- VI-3 分かりやすい経営情報の開示
- ・料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供・・・ホームページで公表
 - ・経営効率化に関する取り組み情報の提供・・・広報紙「水先案内」に掲載
- VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供
- ・保管管理、検査、有効利用、情報提供を継続的に実施

VI-1 戦略的な広報の実施	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
お客さまアンケートにおける広報紙「水先案内」の認知度		-	-
「新潟市水道局広報戦略」に基づく効果的な広報の実施		実施	実施

VI-3 分かりやすい経営情報の開示	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
料金設定の仕組みおよびコスト情報の提供（ホームページおよび水先案内に掲載）		1回/年以上	1回/年以上
経営効率化に関する取り組み情報の提供（ホームページおよび水先案内に掲載）		1回/年以上	1回/年以上

VI-2 お客さまの意見・要望の把握	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
お客さまアンケート調査の実施		実施	実施
水道モニター活動回数（モニター会議、施設見学会等開催数）		5回	4回

VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目（評価指標）		目標	実績
汚泥保管施設における放射線量測定結果の情報開示の継続		開示	実施
放射性物質濃度の分析調査結果の情報開示の継続		開示	実施

施策Ⅶ 技術・知識を有する人材の確保と育成

主な取組み

Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化
 ・技術系新規採用職員の独自採用，教育配転の実施
 ・職員研修基本計画の見直し実施
 ・各種研修は研修計画に基づき継続的に実施
 ・水道研修センターの効果的運用
 (施設稼働率93.0%，うち研修での稼働率48.8%)

Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流
 ・日米台水道地震対策ワークショップ(台南市1名)
 ・自治体水道国際展開プラットフォーム第9回(東京都1名)
 ・日本水道協会国際研修(オーストラリア1名)

Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化	評価結果	効率性 B	有効性 B
目標設定項目(評価指標)		目標	実績
年間内部研修実施時間 (延べ年間研修時間/年度末職員数)		15.8時間	16.0時間

Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	評価結果	効率性 C	有効性 A
目標設定項目(評価指標)		目標/目標累計	実績/実績累計
国際研修等への参加人数		2人/6人	3人/12人

施策Ⅷ 環境に配慮した事業運営

主な取組み

Ⅶ-1 建設副産物の再利用促進
 ・改良土の利用促進
 建設リサイクル法に基づき，アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化(再生率100%)
 建設発生土について，埋戻しに適する発生土は再利用し，適さない発生土は再生プラントへの搬入が可能であれば改良し，再利用(再生率18.5%)

Ⅶ-2 水道局環境計画の策定と推進
 ・環境計画の運用
 ・環境会計の作成・公表
 ・省エネルギー対策の推進

Ⅶ-1 建設副産物の再利用促進	評価結果	効率性 B	有効性 C
目標設定項目(評価指標)		目標	実績
建設副産物のリサイクル率		37.9%	37.5%

Ⅶ-2 水道局環境計画の策定と推進	評価結果	効率性 C	有効性 C
目標設定項目(評価指標)		目標	実績
水道局環境計画の策定・運用		実施	実施
環境会計の作成・公表		実施	実施



2次評価結果の概要

1. 2次評価結果の目的

「すべてのお客さまに信頼される水道」であるためには、お客さまの視点として、外部機関である水道事業経営審議会で、各事業取り組みの実施状況、目標の達成度などを確認したうえで、効率性、有効性、についての評価を受け、今後の方向性を明確にしていくことを目的としています。

2. 2次評価結果の集計

評価値	拡充	維持	終了（完了）	改善・見直し	縮小	計
事業数		28事業		3事業		31事業
				Ⅲ-2 Ⅳ-1 Ⅳ-2		



3. 経営審議会2次評価結果

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会2次評価
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-3 水質管理体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。ただし、過去に指摘のあった通り、市民の皆様への情報の浸透度や理解度について、水道局自らが点検・評価する手法等を継続して検討すること。
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄配水施設の計画的更新	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	III-2 管路施設の計画的更新	改善見直し	限られた財源の中、事業の計画通りの進捗が困難であることは理解するが、一方で老朽管の破損が招く被害や経済的損失が大きいことも見逃すことのできない現実である。リスクと経営資源を勘案し、実態に即し実現可能な更新計画のもと、然るべき額の事業費を確保した上で、着実な事業の推進に努めること。
	III-3 鉛給水管の計画的更新	維持	リスクと経営資源を勘案し、実態に即し実現可能な更新計画のもと、着実な事業の推進に努めること。
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄配水施設の計画的耐震化	改善見直し	地震発生時における浄配水施設の機能の維持は、地震に対する「強靭さ」を備えた都市形成のためにも、非常に重要である。そのため、水道需要の将来予測等も考慮の上、管路施設の耐震化と合わせて、効率的かつ着実な事業の推進に努めること。
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	改善見直し	限られた財源の中、事業の計画通りの進捗が困難であることは理解するが、管路施設の耐震性の向上は市民生活の機能維持の面から極めて重要であるため、適正な範囲内において、然るべき額の事業費を確保し、着実な事業の推進に努めること。
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	維持	引き続き、震災発生時における被災対応拠点施設の機能向上を図るために、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-4 配水管網のブロック化の推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	維持	平成30年1月寒波発生時における広域の漏水被害および断水発生の際に、相互連絡管の機能の重要性は改めて認識されたものと考えている。引き続き計画に沿って事業を推進すること。
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、平成29年度は平成30年1月に寒波に伴う広域の漏水被害および断水が発生したこともあり、必要に応じて事故・災害時の復旧体制について継続的な自己点検、および必要に応じた改善を講じるよう努めること。

施策	事業・取り組み	方向性	経営審議会2次評価
V 経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-2 定員・給与の適正化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること、ただし、危機管理の面から適正な定数にも留意すること。
	V-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-4 遊休資産の有効活用	維持	新たな収入源の確保による経営基盤の強化のためにも、遊休資産の有効活用に向けた検討をすすめ、適正な事業推進に努めること。
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 戦略的な広報の実施	維持	引き続き、市民の皆様には水道事業の理解を深めていただくためにも、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-2 お客さまの意見・要望の把握	維持	引き続き、幅広い意見・要望を効率的かつ的確に把握できるよう、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-3 分かりやすい経営情報の開示	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	VII-1 人材育成と専門性の強化	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること、なお、優れた人材の確保に努め、職員的能力向上のための継続的な教育を実施すること。
	VII-2 諸外国との水道技術研究交流	維持	引き続き、計画に沿って事業を進めること、なお、国内外の各種学術・技術交流活動では、できるだけ多くの職員が対象となるよう配慮すること。
VIII 環境に配慮した事業運営	VIII-1 建設副産物の再利用促進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VIII-2 水道局環境計画の策定と推進	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。

4. 経営審議会委員意見等

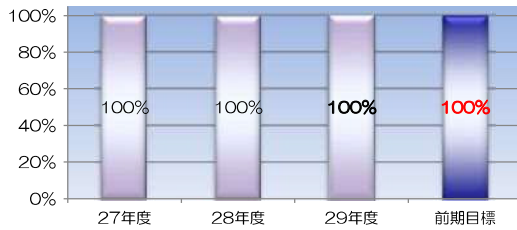
施策	事業・取り組み	所管課	経営審議会委員意見
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	水質管理課	<ul style="list-style-type: none"> 理想的な状況だと思えます。どうぞ連携が継続されることを願います。
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	水質管理課	<ul style="list-style-type: none"> 更に効果の高い、水安全計画となりますよう、期待しております。
	I-3 水質管理体制の強化	水質管理課	<ul style="list-style-type: none"> 今後もGLP認定の継続に期待しています。 大切な技術者が向学的環境で向上されるのは、とても喜ばしく感じます。
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	水質管理課 (浄水課)	<ul style="list-style-type: none"> 取水口が下流域にある新潟市として、安全でおいしい水の供給のために今までと変わらぬ取り組みをお願いいたします。 全ての項目で目標値を達成されたことは大変有難いです。活性炭の活用についても、調査が進むことを祈ります。
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	水質管理課	<ul style="list-style-type: none"> 親子水道教室の開催など、積極的な取り組みを評価いたします。
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	管路課	<ul style="list-style-type: none"> 前年度からの改修が終わり、直結給水化に取り組みられている様子が伝わります。これは保育園や高校などでも、範囲が広がれば幸いです。
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	管路課	<ul style="list-style-type: none"> 貯水槽清掃の清掃率が目標より高い率をキープしているのは評価できることと思えます、引き続き貯水槽の清掃率の向上に努めて下さい。 毎年上下変動がある中で、目標達成を継続されていることは、素晴らしいと思えます。努力が継続されることを、切望します。
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	管路課	<ul style="list-style-type: none"> 講習内容に工夫を凝らして取り組まれていて、感激いたしました。優良工事店が増えることに、とても頼もしく感じました。
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄配水施設の計画的更新	計画整備課	<ul style="list-style-type: none"> 工事資材や工事費等の高騰があると聞いています。そのような状況下でも計画通りに推進できていることに関係者の努力を感じました。今後も計画通りに進めてください。 機器の仕様検討に手間取られても、概ね計画通りなのは、管理が素晴らしいからだと思います。継続されることを望みます。
	III-2 管路施設の計画的更新	計画整備課	<ul style="list-style-type: none"> 予算の執行率と実績を比較すると大変厳しい状況はわかるが、管路施設の更新は先送りするとより厳しい状況となる、今後どう対応するか検討が必要。 28年度で改善・見直しの方向性が示されている中、よりリスクと経営資源を勘案して、実態に即し実現可能な更新計画が実施されていくことを期待します。 既設ルートが別ルートへ延長せざるを得ない状況、並びに市街地での工事の進捗が難しい中で、目標を見直して対処されている点は、とても感謝いたしております。
	III-3 鉛給水管の計画的更新	管路課	<ul style="list-style-type: none"> 28年度で改善・見直しの方向性が示されている中、よりリスクと経営資源を勘案して、実態に即し実現可能な更新計画が実施されていくことを期待します。 他工事との併用が少なくなる中、進捗が進みにくいかと思われそうですが、漏水を防ぐためにも、たゆまず継続されましたら幸いです。
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄配水施設の計画的耐震化	計画整備課	<ul style="list-style-type: none"> 補強不要と、先送りで今年度の実施はなかったそうですが、来年度以降も、耐震強度補強を継続されることを望みます。
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	計画整備課	<ul style="list-style-type: none"> 効率性の総合評価は低いものの、外部要因「積算基準の変更」や「市街地工事による事業費の増加」など、マスタープランに影響のある耐震化工事の予算配分を変更されたことは、評価できることだと思います。 28年度で改善・見直しの方向性が示されている中、よりリスクと経営資源を勘案して、実態に即し実現可能な更新計画が実施されていくことを期待します。 予算の見直しを改めてしてくださったことで、漏水対策が見込めたのだと思います。どうしても事業費の増加は否めませんので、より効率性を優先して頂ければ幸いです。
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	計画整備課	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震への備えは重要である、耐震化の優先受運を検討のうえ事業を進めて欲しい。 着実に重要施設での耐震化が進んでいることに安心しました。年度内で終わるような段階取りが難しいことも、勉強になりました。

施策	事業・取り組み	所管課	経営審議会委員意見
Ⅳ震災対策・体制の強化	Ⅳ-4 配水管網のブロック化の推進	管路課	<ul style="list-style-type: none"> 小ブロック構築と、他の管路整備との効率化が、費用も手間も省かれますので、どうぞそのまま継続されれば幸いです。
	Ⅳ-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	管路課	<ul style="list-style-type: none"> 工事全体として、昨年度より追加で15%終了されたことは、とても喜ばしいです。
	Ⅳ-6 事故・災害時における復旧体制の強化	経営管理課	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り、災害対策時の多団体との連携強化は、今後も充実させていければ良いと感じました。また、現状における多団体との連携についても、適宜協議会などを開催し、連携体制の強化や体制の維持確認を実施していただきたいと感じました。 各種災害時マニュアルは訓練を通じ、その有効性の検証を実施し、さらに実態に即したものに改善していくことが重要。28年度で改善・見直しの方向性が示されている中、よりリスクと経営資源を勘案して、実態に即し実現可能な更新計画が実施されていくことを期待します。応援協定締結や連携先の拡充を進めるなど積極的な取組を評価できます。有事でそれらの応援機能が発揮できる指揮系統構築など事前シミュレーションを十分に実施してください。 毎年他団体との災害時応援協定に力を入れてくださり、大変心強いです。また住民との連携に、自治会で訓練を催していることを知り、ぜひ西蒲区で行われる際は、参加したいと思います。
Ⅴ経営基盤の強化	Ⅴ-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	計画整備課	<ul style="list-style-type: none"> 浄水場ごとの修繕履歴の様式を統一されたり、共有データ化されたおかげだと思えます。より建設的な見直しが行われていると感じます。
	Ⅴ-2 定員・給与の適正化	総務課	<ul style="list-style-type: none"> とても専門性の高い職業ですが、最小のコストでなければならない。ご苦労を感謝いたします。
	Ⅴ-3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	営業課	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者との会議などで、サービスが維持されれば幸いです。次の委託業務は、広報戦略でしょうか。どの範囲まで委託が可能なのか、今後とも期待しております。
	Ⅴ-4 遊休資産の有効活用	経営管理課	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市の交流人口増に貢献する方法で、遊休土地の持続的な活用などができれば良いと思っています（残念ながら、具体性のある計画案は持ち合わせておりませんが）。 H・29年度に遊休資産3か所を太陽光発電用地として賃貸契約を締結されましたが、まだ、旧浄水場跡地も（7か所？）あるように伺っております。遊休施設は今後も売却あるいは太陽光発電用地として賃貸契約するなど有効活用に向けた調査・検討を進めてほしい。
	Ⅴ-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	経営管理課	
	Ⅴ-6 水道事業経営審議会の効果的運用	経営管理課	<ul style="list-style-type: none"> 今回の質疑に至るまでに、水道モニターとしてきめ細かくご指導いただき、更に会議や見学を重ね、水道について学ぶにはとても時間が必要だと痛感いたしました。まだ本当に未熟で、良い意見など夢のまた夢ですが、自分なりに見聞を広めたいと考えています。
Ⅵ積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	Ⅵ-1 戦略的な広報の実施	総務課	<ul style="list-style-type: none"> 実験を体験できた、①川の水に薬剤で沈静化させたことや、②臭気を嗅ぎ比べたこと、などはとても興味深かったです。出前出張の内容に、追加して頂けたら喜ばれると思います。
	Ⅵ-2 お客さまの意見・要望の把握	総務課	<ul style="list-style-type: none"> 水道モニターによる研修会や施設見学などを予算内での執行したこと、事業者向けアンケートを実施したこと、評価できます。アンケートは、予算をかけずに別の媒体で実施（Webなど）も可能かと思えます。今後、検討していただければと存じます。 水道モニターとして、他のモニターのご意見を伺える機会を頂けて感謝しております。配布資料もたくさんご用意くださり、学びやすい環境を整えてくださって、ありがとうございます。水道局とお客様の、ちょうど中間の位置づけて、水道局の経営姿勢や抱える悩みを共有出来て、補佐となればと感じました。
	Ⅵ-3 分かりやすい経営情報の開示	経営管理課	<ul style="list-style-type: none"> 「水先案内」のわかりやすさ、掲載内容の選別（翌朝、水道を少し流す）がよいと評価していらっしゃる方がいた。
	Ⅵ-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	経営管理課	<ul style="list-style-type: none"> 日本水道協会の新潟県支部として、画策して下さっていることに誇りを感じました。だいぶ前ですがNHKで、汚染した湖に以前のように生物が戻って来ていると、テレビで見ました。被爆はとても怖いですが、大地が再生する命に、水の貴重さを痛感します。
Ⅶ技術・知識を有する人材の確保と育成	Ⅶ-1 人材育成と専門性の強化	総務課	
	Ⅶ-2 諸外国との水道技術研究交流	総務課	
Ⅷ環境に配慮した事業運営	Ⅷ-1 建設副産物の再利用促進	技術管理室	
	Ⅷ-2 水道局環境計画の策定と推進	経営管理課	

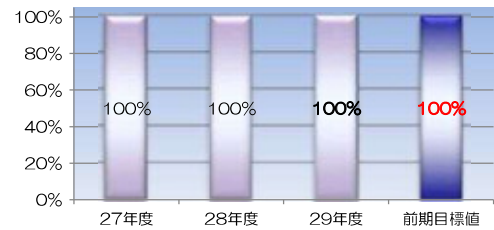
重点目標の推移

■安全でおいしい水道水の供給

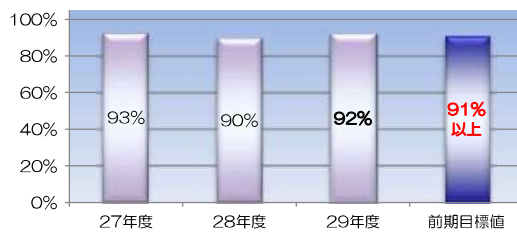
・農薬濃度管理目標達成率



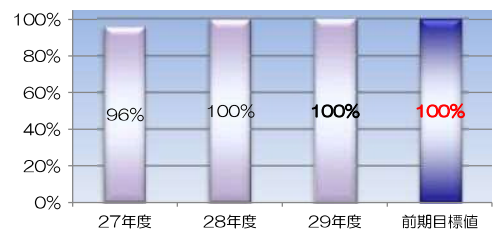
・総トリハロメタン濃度管理目標達成率



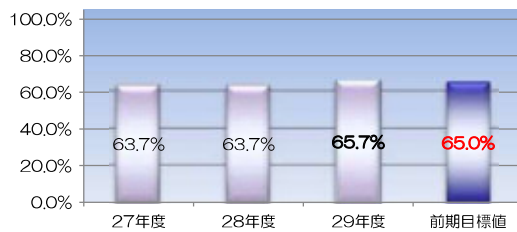
・残留塩素管理目標達成率



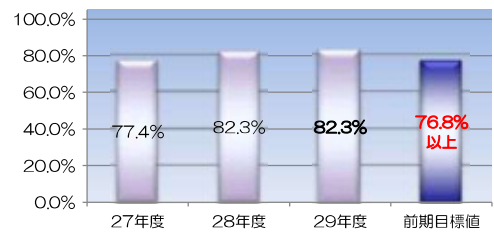
・臭気強度管理目標達成率



・学校施設水飲み水栓の直結給水化率

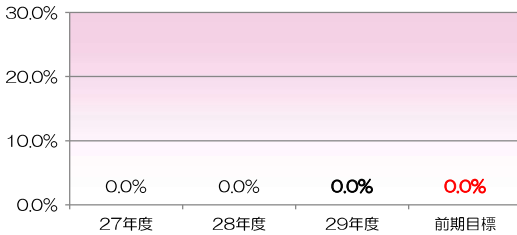


・貯水槽清掃実施率

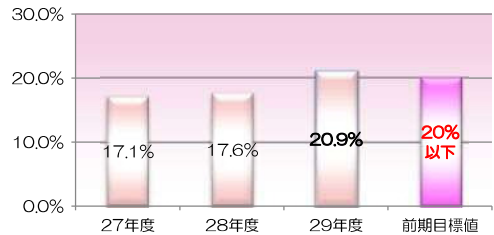


■強靱な施設・体制による給水の確保

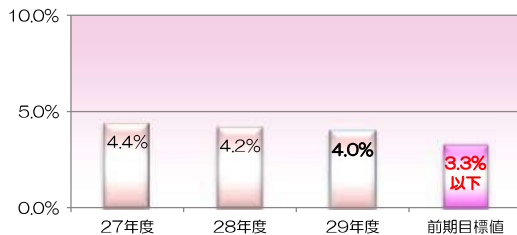
・老朽化浄水施設率



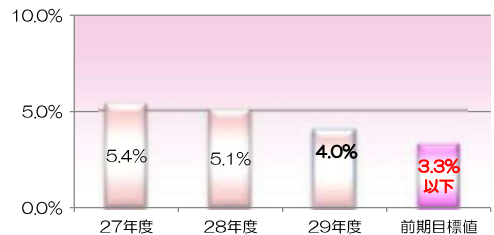
・老朽化設備率



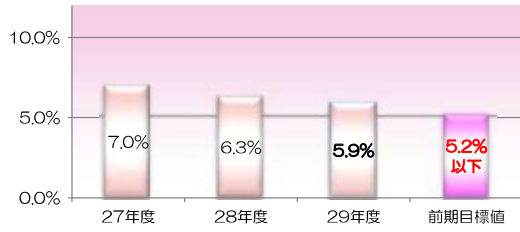
・老朽化管路率 ※1



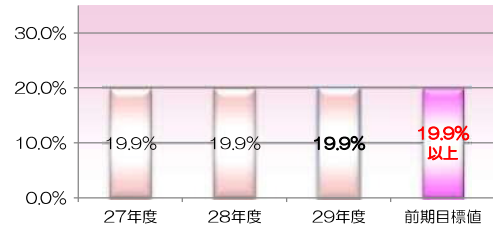
・老朽化基幹管路率 ※1



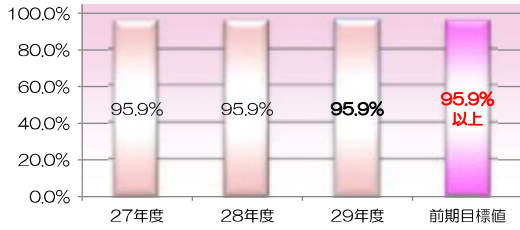
・鉛製給水管率



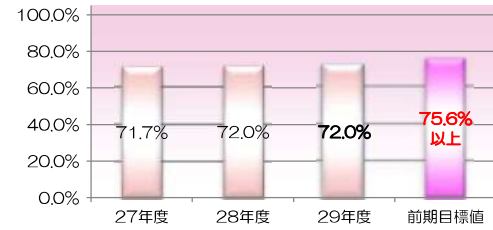
・浄水施設耐震率



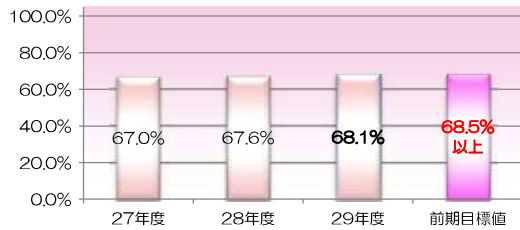
・ポンプ所耐震施設率



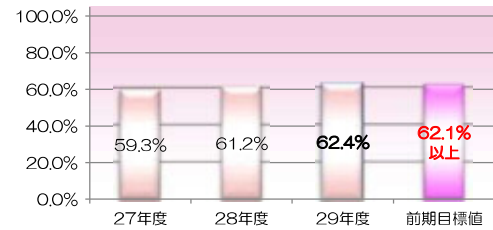
・配水池耐震施設率



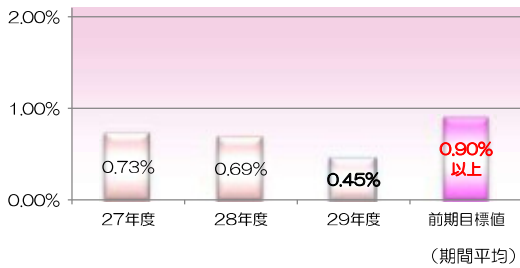
・管路耐震適合率 ※1



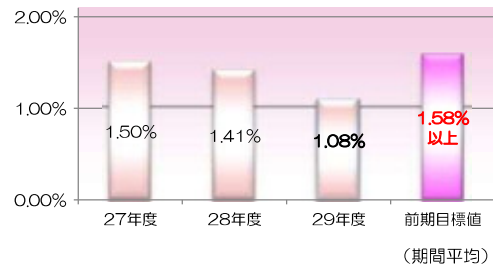
・基幹管路耐震適合率 ※1



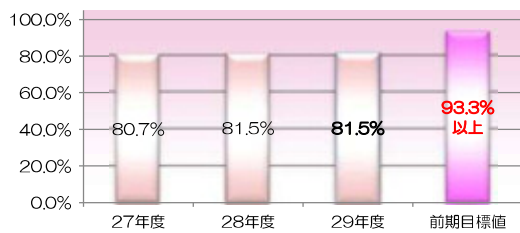
・管路更新率 ※1



・基幹管路更新率 ※1



・小ブロック構築率



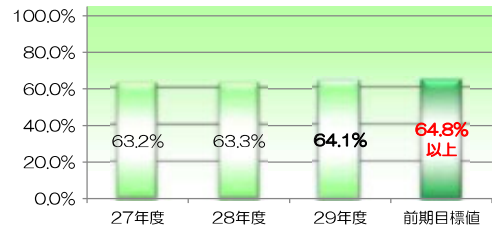
※1 算出の基となる延長は発注延長（計画値）を使用

■環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続

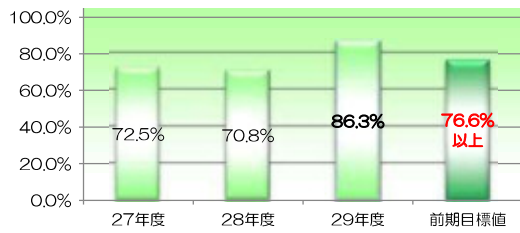
・有収率



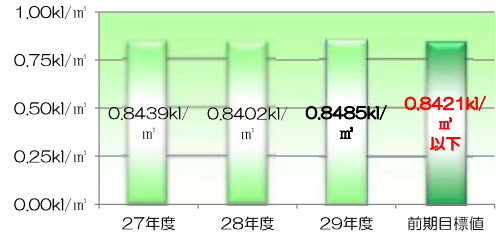
・施設利用率



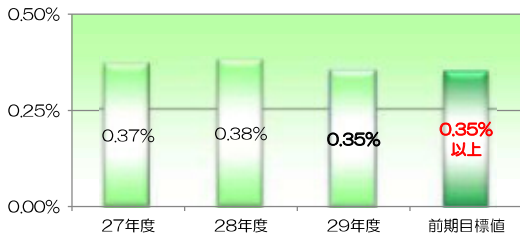
・施設最大稼働率



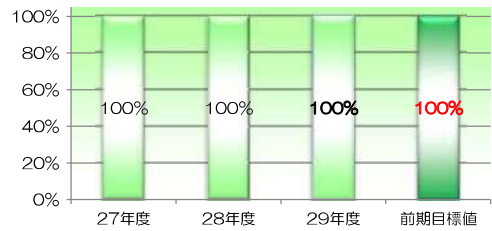
・エネルギー原単位



・再生可能エネルギー利用率



・浄水発生土の有効利用率



・内部研修実施時間

